

令和7年3月11日

松山市ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合(%)

令和6年7月～11月に、市立全小中学校の帯域調査を実施した。

<調査方法>

集約 SW(L3SW) 直下での有線での帯域測定

<対象学校数>

81校 (小学校52校 中学校29校)

※ 興居島小中学校は、ネットワークの入口が共用であるため、中学校1校として測定

<測定結果>

「学校規模ごとの当面の推奨帯域」を満たしている学校数 79校

「学校規模ごとの当面の推奨帯域」を満たしていない学校数 2校

(満たしていなかった学校:興居島小中学校・中島中学校)

<必要なネットワーク速度が確保できている学校の総学校数に占める割合(%)>

79校/81校 = 97.5%

2 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

<ネットワークアセスメントの実施について>

本市では、令和3年度にネットワークアセスメントを実施済みである。その後も、必要に応じて、適宜ネットワークアセスメントを実施してきている。令和6年度、上記帯域調査を実施した。

<帯域調査の実施により、明らかになった課題の解決の方法と実施スケジュール>

島しょ部にある興居島小中学校、中島中学校は、他校と同様のCATVの光回線が来ていないため、GIGAスクール構想が始まった時の基準「同時利用率を考慮して1台あたり2Mbps程度の通信帯域」を確保するよう、帯域保障契約をしていた。しかし、令和6年度の調査で「学校規模ごとの当面の推奨帯域」を満たすには十分ではないことが分かったため、令和7年8月までに、通信契約を変更する。